

# Thank You

◎ 生まれて初めての《Thank you.》

2020.1.11

一年生の算数の授業をしていた。初めての授業なので、授業の約束をまず確かめる。カードを提示する。カードには「ちゃんと『よ』『か』『せ』」とだけ書いてある。「ちゃんと『よ』ってなあに？」 答えは、ちゃんと「よ」ういする。「ちゃんと『か』ってなあに？」 答えは、ちゃんと「か」たづける。ここまで子どもたちに考えさせる。当たらなくてもいい。約束を考えさせるというのが大事。

そして、ちゃんと「せ」・・・「なんだろう。ちょっと長い言葉、むずかしい」・・・と私は言った。だが、なんと即答で正解となってしまった。挙手した女の子はブロンドであった。「はい、どうぞ」と指名したら、「ちゃんと『せ』んせいの話をきく」と答えた。大正解！ まさか正解が出るとは、私は驚く。その子に「すごい！ すばらしい！」と声掛けし、右の図のようにして  「Goo」と私は言った。すると、その子はこう返してきた。「Thank you.」

まったくの意表、1000%の想定外。私が授業していて、子どもの返しが英語であったのは生まれてはじめて。意表を突かれた私は 0.3 秒ほど絶句。そして、私も英語でと焦る。「You`re welcome.」と返そうとしたが、その英語が正しいのか一瞬迷った。結局、何も返えせず。「Thank you.」に撃沈の私であった。

授業って楽しい。予測通りに進む授業も教師冥利である。だが、子どもたちの想定外、予想外、意表突く反応のある授業も私を刺激する。それらの反応から、私の授業像が広がっていく。授業で教師も学んでいる。「子どもから学ぶ」・・・いい言葉だなあと思う。